

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公表番号】特表2002-502786(P2002-502786A)

【公表日】平成14年1月29日(2002.1.29)

【出願番号】特願2000-530443(P2000-530443)

【国際特許分類】

**B 6 5 H 18/02 (2006.01)**

**B 6 5 H 23/032 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 H 18/02

B 6 5 H 23/032

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月24日(2006.1.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】形成中のロールを該ロールの両側に配した第1および第2の支持部材によって該ロールの軸方向に支持するウェブの巻取り方法において、形成中の該ロールの端部の側線の変化を間接または直接測定により測定し、前記支持部材の相互に対する相対位置を前記測定結果に基づいて調整し、これに関連して、形成中の前記ロールの両端部における形状のいかなる欠陥も防止可能なことを特徴とするウェブの巻取り方法。

【請求項2】請求項1に記載の方法において、間接測定方法として、形成中の前記ロールの軸方向に加わる力を少なくとも該ロールの一方の端部を支持する前記支持部材に対して測定し、該測定に基づいて前記支持部材の相対位置を調節することを特徴とするウェブの巻取り方法。

【請求項3】請求項1に記載の方法において、形成中の前記ロールに加わる軸方向の力を該ロールの両端部で前記支持部材に対して測定し、該測定に基づいて前記支持部材の相対位置を調節することを特徴とするウェブの巻取り方法。

【請求項4】請求項3に記載の方法において、形成中の前記ロールに加わる軸方向の力の合力を、測定された支持力間の差と定め、該測定に基づいて前記支持部材の相対位置を調節することを特徴とするウェブの巻取り方法。

【請求項5】請求項1ないし4のいずれかに記載の方法において、形成中の前記ロールの支持部材の相対位置を、前記測定から得られるデータに基づき、形成中の前記ロールに一方の支持部材を介して加わる負荷を増減することによって調節することを特徴とするウェブの巻取り方法。

【請求項6】請求項1ないし5のいずれかに記載の方法において、形成中の前記ロールの支持部材の相対位置を、前記測定から得られるデータに基づき、該支持部材の一方を移動させることによって調節し、形成中の前記ロールの面上へ送られるウェブの、形成中の前記ロールの軸に対する走行方向を変更することを特徴とするウェブの巻取り方法。

【請求項7】請求項1に記載の方法において、最上部層であるウェブ層の位置を、特定の時間ごとに、形成中の前記ロール上で該ロールの軸方向に非接触測定方法により測定し、該測定結果に基づいて前記支持部材の相対位置を調節することを特徴とするウェブの巻取り方法。

【請求項 8】 請求項 1 に記載の方法において、最上部層であるウェブ層の位置を、特定の時間ごとに、形成中の前記ロール上で該ロールの軸方向に接觸測定方法により測定し、該測定結果に基づいて前記支持部材の相対位置を調節することを特徴とするウェブの巻取り方法。

【請求項 9】 請求項 7 または 8 に記載の方法において、形成中の前記ロールの支持部材の相対位置を、前記測定結果から得られるデータに基づき、形成中の前記ロールに前記支持部材の一方を介して加わる負荷を増減することによって調節することを特徴とするウェブの巻取り方法。

【請求項 10】 請求項 7 ないし 9 のいずれかに記載の方法において、形成中の前記ロールの支持部材の相対位置を、前記測定結果から得られるデータに基づき、該支持部材の一方を移動させることによって調節し、形成中の前記ロールの面上へ送られるウェブの、形成中の前記ロールの軸に対する走行方向を変更することを特徴とするウェブの巻取り方法。